

日本語お芝居へのご案内  
井上ひさし作「少年口伝隊一九四五」

原爆投下後、間もない広島。生き残った3人の少年は希望を捨てず、破壊された町の中、地方新聞のニュースを口頭で伝え始める...

ハンブルク・シャウシュピールハウス専属女優、原サチコさんらドイツ在住の日本人による指導の下、ハンブルク大学の学生と日本人留学生が共同企画したお芝居です。日本語で演じ、ドイツ語の字幕をおつけします。

舞台では、3人の少年たちの物語を通して、1945年の原子爆弾投下、そしてそれに関連する、歴史的な出来事が描かれます。脚本は、日本を代表する作家の一人、井上ひさし。高い文学性にユーモアを交えた作品作りが、唯一無二と評される作家です。ドイツと日本の学生たちが構築する、忘れてはならない歴史的一幕。ぜひその目撃者となり、戦争と平和、人間について考えるひと時を作ってみてはいかがでしょうか。

日時: 2017年1月20日18時  
2017年1月21日15時

場所: ハンブルク大学、アジア・アフリカ研究棟、221室  
Universität Hamburg, Asien-Afrika-Institut, Raum 221  
Ludwig-Platz 1, 20146 Hamburg, Flügel-Ost

費用: 無料